

一般

小論文の傾向と対策

方式・日程	学部学科	課題
指定校推薦入試 A I 期 11月18日(土)	全学科共通	SDGsの観点から、あなたが志望する学科で学ぼうとしている内容が、どのように持続可能な社会に貢献すると思いますか。あなたの考えを800字～1,000字で論じなさい。
指定校推薦入試 A II 期 12月16日(土)	全学科共通	あなたが志望する学科で学ぼうとしている内容に関連していると考えられる社会的な問題の一つを取り上げ、その問題を解決するために個人がどのように取り組むべきか、あなたの考えを800字～1,000字で論じなさい。
スポーツ推薦／文化・芸術活動(書道)推薦入試 I 期 11月18日(土)	全学科共通	あなたが自分の「成長」を実感した具体的なエピソードを挙げ、なぜその経験が成長と、その実感につながったのか、800字～1,000字で論じなさい。
スポーツ推薦／文化・芸術活動(書道)推薦入試 II 期 12月16日(土)	全学科共通	あなたが自分の「挫折」を実感した具体的なエピソードを挙げ、その経験がその後のあなたにどのような影響を与えたのか、800字～1,000字で論じなさい。
一般入試 D 3月15日(金)	全学科共通	大学は、多くの学生が集まり、組織として学んでいく機関です。集団で学んでいく際にあなたが大切にすべきことは何だと思いますか。成功、失敗を問わず、自分の実感を伴う具体的なエピソードを挙げ、現在のあなたがどのように考えているのか、800字～1,000字で論じなさい。

傾向 推薦入試、一般入試とも全学科共通課題となった！

1 出題形式

2024年度入学試験はこれまでにないほどの変化があった。形式上の変化は制限字数が統一されたことである。これまで「800字程度」「800～1,000字程度」「1,000字程度」「800～1,200字以内」など学部学科によって幅広く設定されていたが、2024年度入試では全ての学科で「800字～1,000字」となった。但し、「1,000字で」という条件には注意が必要だ。「1,000字以上」にならないように気をつけて欲しい。

2 出題内容

内容面での変化は一般的なテーマとなったことである。各学部学科に関係したテーマでの出題ではなく、自分の志望する学科の学びがどう SDGs に貢献するか、志望する学科で

の学びがどのような社会問題に関わっているか、自分の経験がどのように影響するか、大学という集団の中での学びで大切なものは何だと考えるかなどという一般的なテーマでの出題になった。但し、「自分の志望する学科での学び」に即して考える、「自分の経験」を記した上で考えるという条件に注意して欲しい。「経験」をまとめること、それをどのようにテーマに関連させるかという練習が必要になる。

3 難易度

制限字数的にも内容的にも難易度は標準的である。社会的問題を提示できること、それに対して原因・理由を考え、問題解決に向けた取り組み方を提案できるようにしておきたい。

対策 今年度のように突然形式が変わるということもあるので、短文型・課題文読解型・資料読解型の各形式について練習しておくことが望ましい

1 今年度の形式に共通する対策

志望学科に関する社会的問題を取りあげ、その問題に対する解決策を提示できるようにする。志望学科がどのような学びであるかをまとめる。成長や挫折に関する自分の経験、エピソードをまとめる。

2 短文型

まず、短文型問題の「解答例を写す」ということから始めよう。「段落」「文の順序」「語の係り受け」などを意識しながら書き写すと良い。

次に、志望学部志望学科に関連する分野の新書や新聞記事を読んで知識や識者の知見、発想を吸収する。その後で過去問に取り組み答案を作成する。できれば数年分が望ましい。「一度出題された課題は形を変えてまた出題される」と考え

て取り組むと良い。

3 課題文読解型

まず新聞記事の文章を200字程度で要約し、それを100字程度にするようにしよう。その要約内容をもとに、文章の主題や筆者の意見を正確に把握し、それらに対する自分の意見(賛成・反対など)を構築しよう。意見構築の際には、自分の意見に対する反対意見についても考えておく効果的だ。一連の流れを繰り返し練習しよう。

4 資料読解型

図やグラフの読みとり方を練習しよう。社会科(政治経済等)の資料を用いて特徴的な箇所を指摘する、その背景や原因を探ることを練習しよう。

出題例 指定校推薦入試A I期

SDGsの観点から、あなたが志望する学科で学ぼうとしている内容が、どのように持続可能な社会に貢献すると考えますか。

解答例

近年若者たちを中心にファストファッションが流行している。ファストファッションは最先端の流行をいつでも手軽に楽しめるように安価に大量に生産されている。そのうえ、ポリエステル繊維などの化学繊維を用いて大量の水を使いカラフルな色に染め上げる。洗濯の度に少しずつ繊維がほつれて水と共に河川にそして海へと流される。ファストファッションは、製造工程及び焼却において多大のCO₂の排出がなされるだけでなく、河川や海洋の汚染などの環境問題を引き起こしているのである。

ファストファッションによる環境問題に対して、私は「素材の選定や扱い方」「デザイン」「縫製」「仕上げ」を学び、将来ファッションに携わる人間として対策を講じていきたいと考える。具体的にはファストファッションからサステナブルファッションへの転換に貢献したい。化学繊維よりもオーガニックコットンのような天然素材やエコ素材を利用し、単に流行のデザインではなく、シンプルだからこそ長く愛されるデザインの服を作ることが目標だ。洗濯の度に型崩れしたりほつれたりして繊維が下水に流れ出す低品質の服ではなく、高品質を長く保持できる服を作りたい。

たしかに天然素材の活用は簡単ではない。天然素材の栽培や収穫には時間も費用も掛かる。オーガニックコットンの栽培や収穫には化学肥料や殺虫剤、除草剤などの化学薬品、農薬を使用しないことで手間暇がかかる分だけ化学繊維よりも高価になる。資本力の高い服飾メーカーでなければ使用できないかもしれない。しかし、これまでの歴史が示す通り、技術の進歩によってこうした問題はいずれ克服できると私は信じている。

「素材の選定や扱い方」「デザイン」「縫製」「仕上げ」を学ぶことで、被服の3要素に加えて農薬や化学薬品が被服に及ぼす影響を理解し、素材の生産者の健康被害を防ぎ、土壌の微生物や植物の生育環境を保持し、地下水に化学物質が溶け込んだり下水に流れ出したりして河川や海洋を汚染することを防ぐという形で持続可能な社会に貢献できると考える。

学習法 小論文の基礎を学ぼう！

1 小論文とは何か

特定の設問に対して制限時間内に文章で的確に答えることが求められる。主観性が強い「作文」に対して「小論文」は論理性、客観性が強くなる。

2 小論文の課題の種類

① 短文型

単に「〇〇についてあなたの考えを述べなさい」、(数行の短い文章などを読ませて)「〇〇について述べなさい」など比較的短い語句や文を示し、それについて答えさせる。

② 課題文読解型

一定の分量の文章を読ませ、その内容や設問について考えを答えさせる。「小論文」の代表的な出題形式である。

③ 資料読解型

図やグラフを提示し、そこから読み取れる事柄について答えさせる。文章と違って図やグラフの読み取りを練習する必要がある。

3 小論文の5つのポイント

①原稿用紙の使い方。②正しい日本語。③読みやすい文字。④各課題における条件を満たすこと。⑤主観と客観のバランスをとること。

4 表現の14か条

①書き出し、段落の初めは1文字分を空ける。②形式段落を設定する。③「」、『』を正しく使う。④数字、英語、略語・略称、カタカナ(外来語に限る)を正しく書く。⑤話し言葉、流行語、独自の略語・略称を使わない。特に「話し言葉」には要注意。⑥漢字、熟語を正しく書く。⑦文体を常体、敬体のどちらかに統一する。⑧体言止め(名詞止め)・比喩など表現技法の使用には注意する。⑨主語と述語、修飾語と被修飾語を正しく対応させる。⑩「～て、～に、～を、～へ」などの助詞を正しく用いる。⑪読点(、)を使いすぎない。⑫接続語、指示語を適切に使う。⑬身近な具体例を加える。⑭感情的な表現を避ける。

学習法 小論文の対策を練ろう！

1 「小論文の解答例を書き写す」—自分なりの文章が書けるようになるために

まず、表現や言葉遣い、話の進め方を意識して声に出して読む。次に形式段落ごとに1文ずつ一字一句をそのまま書き写す。最後に内容を思い出しながら極力何も見ずに書いてみる。慣れない内は解答例を見ながらでもよい。大体の話、内容、話の進め方がわかってきたら、何も見ないで自分なりに書く。材料は、自分の志望学科に即した短文型の課題が良い。

2 「自分の志望学部学科に合わせた知識を吸収する」—内容の充実した答案にするために

志望学部学科の内容に関係する本を読んでみる。新聞やニュースでも良い。気になるところ、興味をもてそうなところを読み、メモを取る。その後メモを何回も見直して知識を整理しておこう。志望学科でどういうことが学べるのか、志望学科の学びに関わる社会的問題にはどのような問題があるのかを理解し表現できるようにしておこう。

3 「志望学部学科に即した形式、テーマの問題を解く」—熟練度を上げるために

初めは時間を気にせず構成に注意して書く。それから答案を先生に添削してもらう。添削された事柄を意識してもう一度書く。これを繰り返して、慣れてきたら制限時間を設定して書く。徐々に制限時間内で書けるようになるので、頑張って欲しい。

4 「仕上げ」—自信をもって試験に臨むために

推薦・一般入試全ての最新年度の問題に取り組もう。「自分のエピソード」を簡潔にまとめることに注力しよう。本年度以外のテーマでも「自分のエピソード」が示せるようにすることが大切だ。そして「自分のエピソード」を関連させて意見を述べられるように練習しよう。